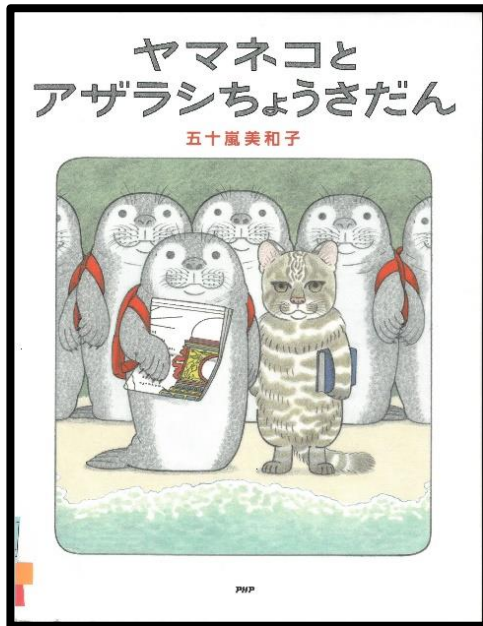


ヤマネコとアザラシちょうさだん



五十嵐 美和子/作・絵

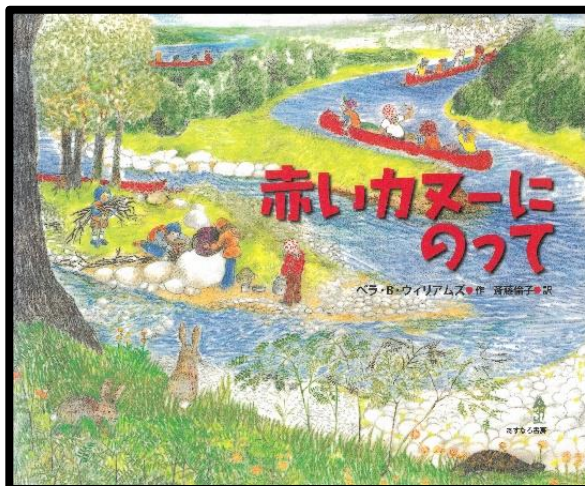
PHP 研究所[エ]

リュックをせおってたおれているアザラシをたすけた、とけいしよくにんのおじいさん。なにがあったのか話をきこうとしますが、アザラシ語が分からず、ものしりのヤマネコの力をかりて、わけをきき出します。

なんとアザラシたちは、うみをしらべするためアザラシちょうさだんになり、うみをキレイにするためのきかいをかんがえだしたということです。

うみのごみもんだいについて知るきっかけになるえほんです。

あか 赤いカヌーにのって



ベラ・B・ウィリアムズ/作

斎藤 倫子/訳

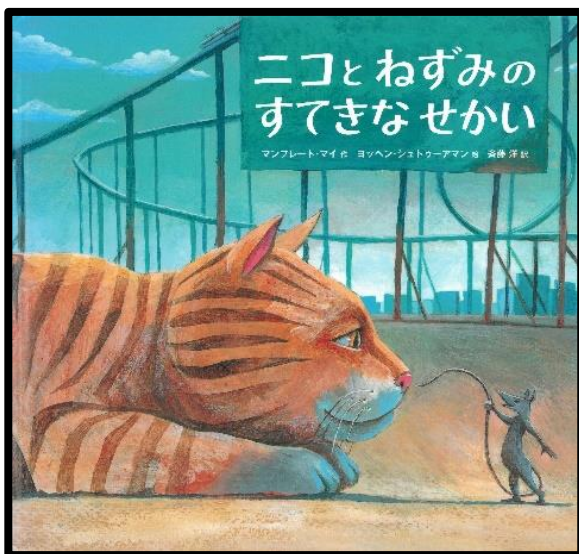
あすなろ書房[エ]

親せきのみんなで買った赤いカヌーにのって、はじめての川くだりにしゅっぱつ。地図や食べもの、どうぐをじゅんびしてわくわくどきどきの3日間のカヌーのたびがはじまります。

ロープのむすび方、テントのはり方、外でかんたんに作れるレシピも紹介されています。

楽しさだけではなくきけんがあることも教えてくれる、はじめての川あそびを楽しむ絵本です。

ニコとねずみのすてきなせかい



マンフレート・マイ/作

ヨッヘン・シュトゥアーマン/絵

さいとう ひろし
斉藤 洋/訳

フレーベル館〔エ〕

とらねこのニコに食べられそうになったねずみのルツィーリは、「たすけてくれたら、すてきなせかいをみせてあげる」といって、まちをあんないします。

さかなやさんのさかなをごちそうしたり、どうぶつえんのとらをみせたり、ゆうえんちでジェットコースターにのせたり。さいごに、こんどはニコが「きょうのおれいに、もっとすてきなものをみせてやろう」といって、ルツィーリをつれだします。

すこしずつなかよくなっていく2ひきのかけあいがたのしいお話です。

もりのたいしょうははりねずみ



モーラ・フェレンツ/作

レイク・カーロイ/絵

うちかわ かずみ/訳

偕成社〔933モ〕

ある日、いばりんぼうのくまが「このもりのたいしょうはだれだ？」と聞くと、きつつきは「はりねずみさまだよ！」と答えました。

おこったくまは、はりねずみにむかって、「いったいどんなにえらいのか、みせてみろ！」とどなります。すると、はりねずみは「ぼくのまえからは、だれだってにげだします」というと体をまるめてころがりだしました。

いばりんぼうだけとおっちょこちょいのくまと、かしこくてちゃっかりもののはりねずみがかつやくする、ゆかいなハンガリーのどうわです。